別記様式第１号その４（第１条の３関係）

記載例 1

電気通信回線に接続して行う自動公衆送信により公衆の閲覧に供する方法を用いるかどうかの別	①.用いる　2.用いない

送信元識別符号

h エイチ	t ティー	t ティー	p ピー	: コロン	/ スラッシュ	/ スラッシュ	w ダブリュー	w ダブリュー	w ダブリュー	. ドット	p ピー	r アール	e イー
f エフ	. ドット	s エス	h エイチ	i アイ	m エム	a エー	n エヌ	e イー	. ドット	l エル	g ジー	. ドット	p ピー
o オー	l エル	i アイ	c シー	e イー	/ スラッシュ								

この様式にURLを記載する場合は、適宜ふりがなを振ってください

記載要領

1　不要の文字は、横線で消すこと。
2　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
3　送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。
4　送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。
5　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。